

腎臓内科 / 腎ミトコンドリア研究室

A. 論文

英文論文

原著論文

Imasawa T, Kitamura H, Kawaguchi T, Yatsuka Y, Okazaki Y, Murayama K. Changes in histopathology and heteroplasmy rates over 8 years and effectiveness of taurine supplementation in a patient with mitochondrial nephropathy caused by MT-TL1 mutation: A case report. *Heliyon*. 2023;9(4):e14923.

研究領域：腎疾患

Hirano D, Unoki-Kubota H, Imasawa T, Yamamoto-Honda R, Kajio H, Yamashita S, Fukazawa Y, Seki N, Noda M, Kaburagi Y. Independent risk factors of rapid glomerular filtration rate decline in patients with type 2 diabetes with preserved kidney function and normoalbuminuria: A multicenter cohort study. *J Diabetes Investig*. 2023 Epub ahead of print.

研究領域：腎疾患

Naganuma T, Imasawa T, Nukui I, Wakasugi M, Kitamura H, Yatsuka Y, Kishita Y, Okazaki Y, Murayama K, Jinguji Y. Focal segmental glomerulosclerosis with a mutation in the mitochondrially encoded NADH dehydrogenase 5 gene: A case report. *Mol Genet Metab Rep*. 2023;35:100963.

研究領域：腎疾患

Imasawa T, Murayama K, Sawada T, Hirose M, Takayanagi M, Nakamura K. High-risk screening for Fabry disease in hemodialysis patients in Chiba Prefecture, Japan. *Clin Exp Nephrol*. 2023 ;27(3):288-294.

研究領域：腎疾患

Matsumura C, Kanemoto K, Uno Y, Kobayashi M, Masuda M, Imasawa T, Hisano M, Homma S, Honda M, Nozu K, Yamaguchi J. Evaluation of screening with urine dipsticks and renal ultrasonography for 3-year-olds in Chiba City over 30 years. *Clin Exp Nephrol*. 2022;26(12):1208-1217.

研究領域：腎疾患

Okumura M, Sugihara S, Seki K, Nagaoka K, Okawa N, Ebihara M, Inoue T, Fukuda J, Ohara M, Imasawa T, Kitamura H, Oda T, Suzuki T. Use of Immunosuppressive Therapy in the Treatment of IgA-dominant Infection-related Glomerulonephritis. Intern Med. 2022;61(5):697-701.

研究領域：腎疾患

Imasawa T, Saito C, Kai H, Iseki K, Kazama JJ, Shibagaki Y, Sugiyama H, Nagata D, Narita I, Nishino T, Hasegawa H, Honda H, Maruyama S, Miyazaki M, Mukoyama M, Yasuda H, Wada T, Ishikawa Y, Tsunoda R, Nagai K, Okubo R, Kondo M, Hoshino J, Yamagata K. Long-term effectiveness of a primary care practice facilitation program for chronic kidney disease management: an extended follow-up of a cluster-randomized FROM-J study. Nephrol Dial Transplant. 2023;38(1):158-166.

研究領域：腎疾患

Imasawa T, Murayama K. In Reply to "The Spectrum of Renal Abnormalities in Mitochondrial Disorders Is Broad". Kidney Int Rep. 2022;7(7):1723-1724.

研究領域：腎疾患

Kawaguchi T, Imasawa T, Kadomura M, Kitamura H, Maruyama S, Ozeki T, Katafuchi R, Oka K, Isaka Y, Yokoyama H, Sugiyama H, Sato H. Focal segmental glomerulosclerosis histologic variants and renal outcomes based on nephrotic syndrome, immunosuppression, and proteinuria remission.

Nephrol Dial Transplant. 2022 Aug 22 ;37(9):1679-1690. PMID: 34499164.

研究領域：腎疾患

著書

発表者：

題名：

掲載誌：

研究領域：

総説

発表者：
題名：
掲載誌：
研究領域：

和文論文

原著論文

発表者：福田亜純，川口武彦，首村守俊，友成雅大，李 紀廉，諸岡瑞穂，兵頭正浩，岡田絵里，今澤俊之
題名：腹膜透析選択に関連する因子についての検討
掲載誌：日本透析医学会雑誌 55(5):293-300. 2022
研究領域：腎疾患

著書

発表者：今澤俊之
題名：特集/症例から学ぶミトコンドリア病 II. ミトコンドリア異常症に含まれる疾患群 8. ミトコンドリア腎症
掲載誌：小児内科 54 巻 4 号（東京医学社）P610-614
研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之
題名：特集/腎臓とミトコンドリア 7. ミトコンドリア腎症
掲載誌：月刊腎臓内科 15 巻 5 号（科学評論社）P522-529
研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之、浅沼克彦、寺脇博之、日比野久美子、入江康文
題名：千葉県における慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策-CKD 対策協力医制度の現状報告
掲載誌：千葉県医師会雑誌/ 第 74 巻(2022)6 号 P256-260
研究領域：腎疾患

発表者：山内真理子、松尾七重
題名：腹膜透析液の種類と選択

掲載誌：腎と透析 92:P365-368, 2022. 6. 15 発行 2022 年 92 巻増刊号
研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：VI. 先天性・遺伝性腎疾患 1. 遺伝性腎疾患（4）ミトコンドリア病

掲載誌：別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ No. 23 腎臓症候群（第3版）

—その他の腎臓疾患を含めて—（日本臨牀）P21-25

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：I. ミトコンドリア腎症

掲載誌：ミトコンドリア病診療マニュアル 2022 改訂第2版（診断と治療社）

研究領域：腎疾患

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）難治性腎障害に関する調査研究班（調査研究班 研究協力者：川口武彦）

厚生労働科学研究4 疾患療養ガイド

ネフローゼ症候群療養ガイド 2023

研究領域：腎疾患

総説

発表者：

題名：

掲載誌：

研究領域：

B. 学会発表（演者のみ）

①国際学会

発表者：Toshiyuki Imasawa, Hiroyuki Unoki-Kubota, Daishi

Hirano, Yasushi Kaburagi

題名：Kidney Disease with Nodular Lesion to Investigate Prognostic Factors

Associated with eGFR Decline Speed Transcriptome Analysis Using

Biopsied-Kidney Tissue of Diabetic

学会：ASN Kidney Week 2022 2022/11/1-6

研究領域：腎疾患

②国内学会

発表者：渡邊知佳、渡邊美有紀、今澤俊之、村山 圭、大竹明、山形崇倫、小坂 仁

題名：脳筋症やネフローゼ症候群の病因となるコエンザイム Q10 還元型・酸化型コエンザイム Q10 測定系の確立

学会：第 125 回小児科学会学術集会 2022/4/15-17 福島

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之、村山 圭、福田亜純、廣瀬雅教、澤田貴彰、中村公俊

題名：千葉県血液透析患者 2924 例を対象とした Fabry 病ハイリスク・スクリーニング

学会：第 65 回日本腎臓学会学術総会

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之、平野大志、鏑 康志、久保田浩之

題名：ラット初代培養ポドサイトを用いた低出生体重関連巣状分節性糸球体硬化症の発症機序解明

学会：第 65 回日本腎臓学会学術総会

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：（教育講演）ミトコンドリア腎症 up to date

学会：第 52 回日本腎臓学会東部学術大会

研究領域：腎疾患

発表者：田邊 淳、川口武彦、兵頭正浩、福田亜純、諸岡瑞穂、森本啓太、首村守俊、北村博司、今澤俊之

題名：コロナワクチン接種後に肉眼的血尿が認められたことを契機に IgA 腎症の腎団に至った症例の臨床病理学的特徴

学会：第 65 回日本腎臓学会学術総会

研究領域：腎疾患

発表者：田邊 淳、川口武彦、諸岡瑞穂、首村守俊、北村博司、今澤俊之

R4 年度臨床研究業績

題名：抗 VEGF 治療中、蛋白尿陽性となる前から高度の糸球体内皮傷害がもたらされている可能性を示唆する一例

学会：第 52 回日本腎臓学会東部学術大会

研究領域：腎疾患

発表者：諸岡瑞穂、川井麗奈、山内真理子、田邊 淳、川口武彦、首村守俊、北村博司、今澤俊之

題名：ゴリムマブが有効だった関節リウマチによる二次性クリオグロブリン血症性糸球体腎炎の一例

学会：第 52 回日本腎臓学会東部学術大会

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：（特別講演）FROM-J の成果が示す CKD 診療への多職種介入の有用性

学会：第 15 回日本 CKD チーム医療研究会 2022/10/29

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：（シンポジウム）

CKD 診療における効果的多職種連携の社会実装化へ向けた課題

学会：第 42 回医療情報学連合大会

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：（シンポジウム）ミトコンドリア腎症診療のさらなる向上を目指して

学会：第 21 回日本ミトコンドリア学会

研究領域：

発表者：今澤俊之

題名：（教育講演）ミトコンドリア腎症—疫学・病態を理解し診断・治療に繋げる—

学会：第 88 回関東小児腎臓研究会

研究領域：腎疾患

C. 講演会・研究会（※院内職員のための勉強会は含まず）

発表者：今澤俊之

題名：高齢者腎機能低下症例の治療を再考する

～カリウム管理、投薬、食事、運動等～

講演会：高齢者治療を再考する会 in KATORI 2022/4/1

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎臓内科からみた Cardio-Renal-Anemia Syndrome

講演会：Cardiorenal Connection Forum 2022/4/13

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：ADPKD 家族を地域でささえる仕組みづくり

講演会：地域で支える ADPKD 診療 2022/4/14

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 治療の New Era 到来～さらなる千葉県腎疾患対策の充実に向けて～

講演会：千葉県の慢性腎臓病を考える会 2022/4/19

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：ミトコンドリア腎症-希少疾患をしっかりと診断し治療する時代に向けて-

講演会：第3回岩手腎臓セミナー 2022/4/22

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 治療の New Era 到来～さらなる千葉県腎疾患対策の充実へに向けて～

講演会：松戸市 CKD 重症化予防セミナー 2022/4/26

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 診療の課題を認識し、CKD 重症化予防対策を推進する

講演会：Active Treatment Seminar

～糖尿病から腎臓を守るために～ 2022/4/27

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：慢性腎臓病（CKD）の治療薬と生活食事指導を再考する

講演会：未来を見据えた CKD 治療を考える会 2022/6/14

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 診療を再考する～地域診療連携体制・腎性貧血治療・電解質管理～

講演会：病診連携で腎臓を守る会

～東総エリアの患者さんのために～ 2022/6/15

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県腎疾患対策が始まった今、

地域連携を通じた慢性腎臓病（CKD）の診断・治療を再考する

講演会：山武郡市学術講演会 2022/6/17

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：慢性腎臓病（CKD）症例における貧血管理

一腎保護と心血管イベント抑制も見据えて一

講演会：四街道 CKD セミナー 2022/6/22

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県民がよりよい腎疾患医療を遍く享受できるようにするために

講演会：CKD 診療 Up to date

～最新検査方法からチーム医療の重要性まで～ 2022/6/29

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：全ての方がよりよい腎疾患医療を

遍く享受できる体制構築

-FROM-J10 の成果と千葉県 CKD 重症化予防対策の現状を踏まえて-

講演会：北海道 CKD 対策 web 講演会 2022 2022/7/9

R4 年度臨床研究業績

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県 CKD 対策のさらなる充実に向けて

一CKD 対策協力医の先生方からご紹介いただいた症例を通し学ぶ一

講演会：令和4年度 千葉県CKD対策協力医研修会 2022/7/21

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県における血液透析症例を対象とした

ファブリー病ハイリスク・スクリーニング

講演会：第15回 千葉県酵素補充療法研究会 2022/7/29

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：Common な CKD から Rare な CKD を網羅する診療体制構築へ向けて

一千葉県腎疾患対策とミトコンドリア腎症診療を例に一

講演会：第8回 愛宕山腎疾患フォーラム 2022/8/5

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 患者のカリウム管理-変わり始めたその意義と方法-

講演会：CKD 治療を再考する会 in 土浦 2022/8/31

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎臓内科からみた心腎連関一貧血 control の意義一

講演会：心腎貧血症候群セミナー 2022/9/2

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：糖尿病性腎症予防の重要性、

CKD 対策協力医との連携による千葉県 CKD 対策

講演会：令和4年度 CKD シール事業に係る研修会 2022/9/21

研究領域：腎疾患

R4 年度臨床研究業績

発表者：今澤俊之

題名：全ての方がよりよい腎疾患医療を遍く享受できる体制の構築を目指す
～早期介入の重要性について～

講演会：ATC-on SEM in Kagoshima～ 鹿児島エリア講演会 2022/9/28

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎症における基礎知識と栄養管理について

講演会：千葉県栄養士会医療事業部「第2回プラクティスセミナー 2022/10/1

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県における腎疾患重症化予防対策

—早期診断・早期治療・多職種連携医療を

全ての方が遍く享受できる体制を目指して—

講演会：Scientific Exchange Meeting～

CKD の早期診断・早期治療に向けて～ 2022/10/12

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：2型糖尿病を合併する慢性腎臓病の治療を再考する

講演会：CKD と糖尿病を考える会 in 千葉 2022/10/13

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：心腎連関を考慮したCKD治療に必要なカリウム管理

講演会：心腎連関 Symposium～CKD・CHF治療を考える～ 2022/10/19

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県CKD対策の現況と多職種連携推進への期待

講演会：千葉県腎疾患対策講演会 2022 2022/10/27

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：医療連携によるアウトカムの改善

R4 年度臨床研究業績

—FROM-J によるエビデンス構築と

千葉県における連携システムの実装化に向けた取り組み—

講演会：Accelerate Change Together on Chronic Kidney Disease

～ Spotlight on CKD～ 2022/10/31 全国

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：全ての人によりよい腎疾患医療を遍く享受できるようにするために

講演会：第45回 地域医療講演会 2022/11/10

研究領域：腎疾患

発表者：首村守俊

題名：「PD、ゼロからの立ち上げ」

講演会：第49回千葉県透析研究会 シンポジウム

千葉の誇る腹膜透析最前線 2022/11/13

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：①CKD の病態と重症化予防の重要性

②CKD 重症化予防のための生活食事指導と治療薬の基礎知識

講演会：令和4年度糖尿病性腎症・CKD 重症化予防における

保健指導従事者研修会 2022/12/1

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県における透析患者症例を対象に行った

ハイリスクスクリーニングを終えて見えてきた課題

講演会：日常診療に潜むファブリー病を考える会 2022/12/1

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎ファブリーを見逃さず早期診断・治療を繋げるために

—透析患者を対象にハイリスクスクリーニングを行った

経験を踏まえて—

講演会：ファブリー病 Web Seminar in 千葉 2022/12/6

研究領域：腎疾患

R4 年度臨床研究業績

発表者：首村守俊

題名：腎疾患医療の中核病院としての役割と医療連携
～腎代替療法と医療連携～

講演会：新潟県腎代替療法研修会 2022/12/6

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 対策協力医が要となる千葉県腎疾患対策のさらなる拡充に向けて
講演会：印旛 CKD 対策協力医講演会 2022/12/9

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD 重症化予防対策とその中における食事・生活指導の最新知見
-電解質管理も含めて-

講演会：地域で診る CKD セミナー 2022/12/19

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：CKD における栄養管理ー最近の話題ー

講演会：令和4年度千葉県CKD対策に向けた保健活動セミナー 2023/1/21

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎ファブリー病を見逃さず早期診断・治療を繋げるために
ー透析患者を対象にハイリスクスクリーニングを行った
経験を踏まえてー

講演会：第46回IgA腎症研究会 学術集会ランチョンセミナー

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：腎生検はどんな時に必要でそしてどう診療に役立つのか
講演会：(千葉東病院) 医療連携カンファレンス 2023/3/15

研究領域：腎疾患

発表者：今澤俊之

題名：千葉県における CKD 重症化予防対策

一県民が遍く腎疾患医療を享受できる体制構築へ向けて一

講演会：和歌山慢性腎臓病対策協議会(W-CKDI) 学術講演会 2023/3/16

研究領域：腎疾患

D. 研究助成金獲得状況

研究課題名：低出生体重関連腎症の発症機序のオミックス解析による解明

交付機関：大塚製薬(株)

研究領域：腎疾患

獲得金額：20 万円

研究者氏名：今澤俊之

研究課題名：腎臓内科医学研究のため

交付機関：日本イーライリリー株式会社

研究領域：腎疾患

獲得金額：50 万円

研究者氏名：今澤俊之

研究課題名：国立病院機構千葉病院で行う腎に関する研究

交付機関：協和キリン株式会社

研究領域：腎疾患

獲得金額：30 万円

研究者氏名：今澤俊之

研究課題名：ミトコンドリア腎症の診断力向上のための研究

交付機関：中外製薬株式会社

研究領域：腎疾患

獲得金額：20 万円

研究者氏名：今澤俊之

研究課題名：腎生検組織のオミックス統合解析に基づく、糖尿病性腎臓病の予
後規定要因の解明に関する研究助成

交付機関：住友ファーマ(株)

研究領域：腎疾患

R4 年度臨床研究業績

獲得金額：50 万円
研究者氏名：今澤俊之

研究課題名：慢性腎臓病に関する研究
交付機関：椎名崎クリニック
研究領域：腎疾患
獲得金額：100 万円
研究者氏名：今澤俊之

E. 国立病院機構共同研究 (NHO・EBM)

なし

F. 受託臨床研究(治験・NHO・EBM 以外)・・・製薬会社受託研究/製造販売後調査など

研究課題名：
研究者：
依頼者：
R3 年度新規登録症例数(文書同意あり)：
研究領域：

G. 公費臨床試験 (AMED・科研費等)

研究課題名：糖尿病性腎臓病の腎組織を用いたトランスクリプトーム解析－
新規治療法探索へ向けて－
交付機関名：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究 C）
研究の種類：
研究者名：今澤俊之
R3 年度新規登録症例数(観察研究以外)：

研究課題名：多様なミトコンドリア病の遺伝子型/表現型/自然歴等をガイドラ
インに反映させていくエビデンス創出研究
交付機関名：日本医療研究開発機構（AMED）難治性疾患実用化研究事業

R4 年度臨床研究業績

研究の種類：

研究者名：今澤俊之

R3 年度新規登録症例数(観察研究以外)：

研究課題名：腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築

交付機関名：厚生労働行政推進調査事業費補助金（腎疾患政策研究事業）

研究の種類：

研究者名：今澤俊之

R3 年度新規登録症例数(観察研究以外)：

研究課題名：腎疾患対策検討会報告書に基づく慢性腎臓病（CKD）対策の推進に資する研究

交付機関名：厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）

研究の種類：

研究者名：今澤俊之

R3 年度新規登録症例数(観察研究以外)：

H. 上記以外で掲載希望のもの

（特許出願）

発明者：久保田浩之、鏑木康志、今澤俊之

出願番号：特願 2022- 72773

提出日：2022 年 4 月 26 日

名称：腎機能低下リスクの評価方法

（取材記事）

今澤俊之

「千葉県 CKD 重症化予防」

バイエルメディカルニュース Renal CONNECT

製本版：2022 年 4 月

（選出）

今澤俊之

米国ベストドクターズ社

R4 年度臨床研究業績

“The Best Doctors in Japan™ 2022-2023” に選出
2022 年 7 月

(取材記事)

今澤俊之

「オール千葉で慢性腎臓病を（CKD）重症化予防のさらなる前進をめざす」
CKD Liaison（協和キリン発刊雑誌）
製本版：2022 年 11 月

(開催)

第 13 回腎臓にやさしい減塩料理教室

2023 年 3 月 Web 開催 (YouTube 配信)

主催：千葉東病院／淑徳大学（責任者：曾部知恵、桑原節子、川口武彦）